

安全データシート(SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名

On-chip MiMe-Stain Green

製品コード

2004010

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名称

株式会社オンチップ・バイオテクノロジーズ

担当部署

ユーザーサポート部

住所

〒184-0012 東京都小金井市中町 2-16-17

電話番号

042-385-0461

Fax 番号

042-385-0462

電子メールアドレス

support@on-chip.co.jp

緊急連絡電話番号

042-385-0461

推奨用途

研究用

使用上の制限

上記の用途以外の使用はしない

2 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康有害性

分類できない

環境有害性

分類できない

GHS ラベル要素

絵表示

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

該当しない

注意書き

該当しない

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 登録番号	官報公示 整理番号 (化審法／安衛法)	濃度又は濃度範囲 (wt%)
3-[4-[(E)-2-[4-(dibutylamino)phenyl]ethenyl]pyridin-1-ium-1-yl]propyl-triethylazanium;dibromide	149838-22-2	-	0.3
滅菌水、エンドトキシンフリー	7732-18-5	-	99.7

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動して呼吸しやすい姿勢で休息すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

症状が続く場合には、医師に連絡すること。

多量の水で洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

症状が続く場合には、医師に連絡すること。

嘔吐させないこと。

意識がない場合、口から何も与えないこと。

水で口をすすぐこと。

医師の診断を受けること。

急性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

水、粉末消火器、泡消火器、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

一酸化炭素、炭素酸化物、窒素酸化物(NO_x)、臭化水素ガス、など有害なガスまたは蒸気が発生する可能性がある。

特有の消火方法

ガス/蒸気/ミストを水スプレージェットで除去する。消火した水が、地上水または地下水を汚染しないようにする。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、自給式呼吸器及び適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や蒸気、ミスト、ガス吸入を避ける。

すべての発火源を取り除く。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

下水道や水域への流出を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏れを防ぐ。

漏出した製品を不活性吸収材に吸収し、密閉容器に回収して地域や国の規制に従って廃棄すること。

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

二次災害の防止策

すべての発火源を取り除く。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

皮膚・眼・粘膜との接触を避けること。

粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

接触回避

「10 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

製品に汚染された衣類は着替えること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管

技術的対策	保管場所には、危険物を取り扱うための適切な照明及び換気の設備を設ける。
混触禁止物質	強酸化剤
保管条件	日光を避ける。 (開封前) -20℃で保管する。(開封後) -80℃で保管する。 容器を密閉すること。
安全な容器包装材料	破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会(2023)	設定されていない
----------------	----------

設備対策

取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗淨のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具	保護マスク
手の保護具	保護手袋(不浸透性の化学防護手袋)
眼及び/又は顔面の保護具	サイドシールド付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	化学薬品保護服(長袖作業衣)

特別な注意事項

なし

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	赤色
臭い	情報なし
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	引火しない
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし

pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	該当しない
その他のデータ	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	光、加熱、燃焼、および火花
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	火災等の場合は、一酸化炭素、炭素酸化物、窒素酸化物、臭化水素ガスなど有害なガスまたは蒸気が発生する可能性がある。

11 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性(経口)	情報なし
急性毒性(経皮)	情報なし
急性毒性(吸入:ガス)	情報なし
急性毒性(吸入:蒸気)	情報なし
急性毒性(吸入:粉じん／ミスト)	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報不足のため分類できない 0.1%以上の濃度で含有する本製品の成分には、IARC、ACGIH、NTP、OSHA の発がん性リスト物質はない。
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 短期(急性): 情報なし
------	----------------------

	水生環境有害性 長期(慢性): 情報なし
残留性・分解性	情報なし
生物蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13 廃棄上の注意

化学品汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(ADR/RID の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送(IMO の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

航空輸送(ICAO/IATA の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海洋汚染物質

非該当

MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
取扱い及び保管上の注意の項に留意する。

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化審法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

なし

16 その他の情報

参考文献

Biotium, Inc. SDS
日本産業衛生学会 (2024) 許容濃度等の勧告

【注意】 本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。